令和７年４月 23 日
第１回子ども･子育て会議
報告資料9

児童館キャンプ事業について

１　趣旨

令和７年２月に策定した「児童館の今後のあり方基本方針」では、今後の児童館が重点をおくこととして「放課後子ども教室や学童クラブでは実施が難しい独自の事業展開や、児童の健全育成に資するあそび事業の企画、実施（例 調理体験、クラフト、スポーツ、自然体験、キャンプなど)」を掲げ、「アウトドアに特化した児童館」の設置も想定している。

児童館におけるアウトドア活動を安全に行うためには、職員自身がアウトドア活動のスキルを十分に習得している必要がある。そのために、平成２７年度まで実施していたキャンプ事業を、長年経験してきた職員が在職している内に再開させ、若手職員にアウトドア活動のスキルを継承・習得していけるようにする。またキャンプ事業の再開は、児童館利用者に対しても、児童館が将来的にアウトドア活動を充実させていくことを具体的に示していくことにつながる。

２　事業名称　　たまこどもキャンプ

３　実施日

令和７年７月２９日から３１日まで　２泊３日
その他に、説明会（６月８日於：市役所)、事前学習活動（市内会場に集合）を予定

４　実施場所　八ヶ岳少年自然の家

５　主な内容　自炊活動、キャンプファイヤー、自然体験など

（子どもが各自で自主的に過ごし方を選べるようにする）

６　定員　全エリア計５０名（小学校４年生～中高生）

条件：身の回りのことが自分でできること。

７　参加費　１人あたり 13,000 円（予定）

８　スタッフ体制

職員　１５名（課長１名、館長４名、担当１０名）　※専門スタッフを含む。
ボランティア　１０名、　看護師　１名

９　その他

行先である長野県富士見町（友好都市）は令和７年が町制７０周年の年であるので、その記念となるよう、富士見町児童との交流も図る。